

具志川市史 第八卷 民俗編 上

目次

口絵

発刊のことば

市史第八巻民俗編の刊行にあたって

発刊に寄せて

凡例

目次

うるま市教育委員会教育長

うるま市具志川市史編さん委員会委員長

うるま市長

謝 敷 久 武

名 嘉 真 宜 勝

島 袋 俊 夫

第一章 社会生活

第一節 具志川市の歴史概観

一 地形と歴史・沿革

1 地勢

2 首里王府時代の具志川／間切の沿革史

3 明治・大正・昭和戦前期の具志川

4 戦後の動き

二 各字（ムラ）の概況

3 3 5 9 14 17

村(字)の変遷	17
字具志川	18
字田場	22
字赤野	25
字宇堅	27
字天願	29
字昆布	32
字栄野比	35
字川崎	37
字安慶名	38
字西原	41
字平良川	42
字上平良川	43
字兼箇段	43
字米原	45
字赤道	45
字江洲	47
字宫里	49
字喜仲	51

字上江洲	53
字大田	56
字川田	58
字塩屋	59
字豊原	60
字高江洲	61
字前原	62
字志林川	63
第二節 屋取集落の沿革	64
一 具志川間切と屋取	64
1 屋取と土族分布	65
2 仕明地・請地・払請地及び杣山	75
二 屋取集落の土族分布	78
1 行政機関変遷	78
2 各字(村)の土族分布	80
字具志川／字田場／字赤野／字宇堅／字天願／字昆布／字栄野比／字川崎／字安慶名／字西原／字平良川／字上平良川／字兼箇段／字米原／字赤道／字江洲／字宮里／字喜仲／字上江洲／字大田／字川田／字塩屋／字豊原／字高江洲／字前原／字志林川	94
第三節 社会組織	94

一	家族	94
1	家族と生活	95
2	家計	95
3	分家慣行	96
二	親族	97
1	親族関係語彙	97
	ウエーカとマガラ／タツクイー・チー(血)／チュチョーデーとチュヤツクワ／ウナイと ウィキー／シジ・サニ	
2	親族の呼称と名称	100
	親族名称／親族同士を総称する言葉・年長年少／親族呼称	
3	父系親族集団―門中、一門とチュチョーデー	107
4	事例分析 字具志川の親族集団	108
	門中構造／屋号／墓／年中行事／門中経費	
三	祖先祭祀とその継承	120
1	位牌祭祀	120
2	位牌と香炉	120
	位牌／位牌の形態	
3	位牌の継承と禁忌観念	122
	理想的継承と養取慣行／タチイマジクイ(他系混淆)の禁忌／チャツチウシクミ(嫡男押し	

	込み)の禁忌／チョーデーカサバイ(兄弟重合)の禁忌／イナググワンス(女元祖)の禁忌／ 位牌にみる禁忌観念	
4	位牌のゆくえと寺	133
	四 むすびにかえて	136
	第四節 村落組織	138
	一 はじめに	138
	二 村落組織の諸相	139
1	宮里区	139
	現在の宮里区の概要／戦前の宮里の概要／村落規制／加入規定／婚姻規制／共有財産／ 村落の運営／総御礼(スーグリ)／二才揃い(ニンセージュリー)／有志揃い(ユウシジュ リー)／共同作業／賦役(ブー)／ユイマール／祭祀行事	
2	兼箇段区	146
	村落の概要／村落の運営／本部落の運営／戦前の兼箇段の概要／村落の統制／共同慣行	
3	米原区	151
	米原の概要／区の運営／運営／班／下位組織／成立伝承／戦前の集落と運営	
4	大田区	157
	現在の大田区の概要／戦前の大田の集落と運営／加入規定／婚姻規制／共有財産／村落 の統制／共同作業・ブー(賦役)／イーマール／祭祀と行事	
5	川田区	163

6	川田区の概要／川田区の運営／戦前の川田の集落と運営	168
6	塩屋区	168
6	塩屋区の概要／塩屋区の運営／戦前の塩屋の集落と運営	168
7	宇堅区	173
7	村落の概要／村の運営／村落の統制／共同慣行	173
8	喜仲区	177
8	現在の区の概要／区の運営／戦前の仲嶺の概要／現在の仲嶺部落「有志会」	177
9	高江洲区	182
9	現在の区の概要／戦前の高江洲の概要／戦前の組／旧来の門中と祭祀	182
10	天願区	187
10	現在の天願区の概要／区の運営／戦前の天願の概要	187
11	赤野区	190
11	赤野区の概要／現在の赤野区の概要／戦前の赤野の集落と運営	190
三	村落組織の特徴	195
1	村落の構成	195
1	成立時期と村落類型／成員要件と規制	195
2	村落の組織と運営	196
2	負担金と共有財産／村落の運営	196
3	村落の内部組織	197

第二章 生業

双分組織／組(クミ)／性別・年齢別組織	199
4 本部落とヤードウイ	198
5 村落連合組織	199
四 おわりに―村落組織の変化	199

第一節 農業

一 概要	205
二 農家の生活	207
三 戦後の農業	211
四 農作物の種類・栽培	212
1 作物の種類	212
〈穀類・いも類〉／〈葉菜・根菜〉／〈果菜〉／〈その他〉	212
2 作物の話	213
トーマーミー(そら豆)／ヒマ(蓖麻)／キャッサバ	214
3 主要作物	214
米／芋	214
4 さとうきび・製糖業	217

栽培と品種／さとうきびの収穫／さとうきびの圧搾作業／黒糖の製造／黒糖の運搬／昆布方面からのルート／田場方面からのルート

5 商品作物

／〈パインアップル〉／〈茶〉／〈みかん〉／〈花卉〉・洋ラン・オクラレルカ・ガーベラ・キク／〈い草〉

第二節 畜産業

はじめに

沖縄県における具志川市の畜産業の位置

一 家畜と飼養管理

1 くらしと家畜

2 豚の来歴と在来豚

3 琉球在来豚アグー(具志川市に多く残っていたアグー)

4 豚の飼育と豚舎

豚舎(ウワーフル)／フルとその位置と向き／フルの実測図(図6～図17)／シーリ

ンプーとミントナ／小規模から多頭飼育へ／米軍基地内における豚の飼育

5 飼料

飼料としての甘藷／飼料としての人糞／飼料としてのアフリカマイマイ

6 給餌

トーニ／生育過程などの呼称

7	豚に関する各呼称など	269
	豚(ウウー)／豚を飼養する人／雌雄と繁殖豚／形状から(毛色や大小など)／利用から／肥育状況から／罹患豚など／豚を屠る人／豚の去勢をする人／内臓	
8	アカサーウウー	272
	戦前のアカサーウウーの守備範囲／戦後のアカサーウウーの守備範囲	
9	豚の病気など	274
10	豚の売買／運搬	275
11	フルル神のこと	275
二牛		277
1	牛の飼養と使役	277
2	闘牛	278
3	乳牛(チーチーヤー)	281
三馬		283
1	沖縄の在来馬と使役	283
2	ウマハラセー	284
3	戦時中における馬	285
4	使役	285
5	馬のおもな各部位呼称	287
6	タマゲーは魔よけ	288

7	食肉としての利用	289
8	牛馬の売買・ムイスーとバクヨウ	290
四	山羊	291
1	山羊の飼育と利用	291
2	山羊の薬効	292
五	鶏・アヒル・犬・猫・ウサギ	294
1	鶏	294
2	アヒル	296
3	犬	297
4	猫	298
5	ウサギ	299
六	家畜と行事と祭祀	299
1	正月豚	299
	と殺の場所／カッティーとワキワキ／塩漬けと保存と利用／各時期に食べる部位と料理／ウワーアンダとアンダカシ／豚油や血などの薬効	304
2	シマクー(シマクサラシ・カンカー)と家畜	308
七	子どもと家畜	308
第三節	商業	309
一	商業の形態	309

1	雑貨商(マチヤグワ)	310
2	酒屋	315
3	料亭・旅館	316
4	床屋	317
5	行商	318
6	その他	319
二	砂糖樽の販売	320
1	搬入先(那覇)	320
2	嘉手納の製糖工場への搬入	321
3	砂糖樽の運搬と交通	321
三	喜屋武平良川の繁華街	325
四	戦後の諸産業の展開	326
1	闇商売からマチグワへ	326
2	上平良川特飲街	328
3	洗淨野菜(米軍向けの野菜栽培)	329
4	商工会(平良川商工会・安慶名商工会)	329
第四節	製塩・漁業	331
一	製塩	331
	はじめに	331

塩田の分布と生産		332
1 塩屋の塩焚きと流通		333
2 塩炊き(製塩)		334
製塩設備と道具類 ユシ／ムルサードキ／オードー(モッコ)／ティーグエー(キーグエーとも呼ぶ)／ユシグワー／ターグー(担桶)／ワンブー／クルバシー／ムックー(度数計)／クミ／鍋／塩の販売		337
二 漁業		337
1 天願川の川魚		337
捕獲物／道具としかけ 投げ網／ハージャー／ティールグワー／ヤナ／ササイリ／トゥカラー／アイクー／タモアミ／ミージョーキー(竹製の大きな器)／モリ(トジャ)／クミヒラシ(汲み出し)		337
2 クミイと汽水域		340
字内のクミイ(池)・タマロー(汽水域)／下原の湿地帯／旧勝連南風原の汽水域		340
3 沿岸漁業(地先)		341
昆布の漁船(サバニ)漁業／漁法：山立て・延縄／漁獲物と販売／宇堅の漁業／漁法：スンチャー、アンブシ、カチ(魚垣)／スンチャーアミ／アンブシ(建干網)／カチ(魚垣)漁業／漁獲物と販売／ウフグチクミ、ガニグワークミ／字具志川の漁業／地曳網／潜り漁／漁獲物と販売		341
4 海藻類と貝類		345

第二章 交通・運輸・通信

5	学校教育と虫下し、農業用の肥料／貝類	346
5	中城湾の埋め立てによる変化	346
6	中城湾埋め立てによる漁獲高への影響	347
6	戦後の漁業組合の経緯	347
第五節	諸職	351
一	バクコー	351
二	バシヤムチャー	353
三	ウマヌチミクマサー	355
四	カーフヤー	357
五	石大工	360
六	ランパチャー	362
七	ユーフルヤー	366
八	ボウシクマサー	373
九	筵原料の生産と販売	375
十	和菓子屋	377
十一	酒屋	378
十二	行商・カミアチネー	380

第一節 交通・運輸

一 近世の陸上交通

二 近代の陸上交通

県道・郡道・村道の整備／市内の生活道路―村落内の道―／近隣町村への道／さとうきび運搬の道

三 乗り物

四 戦後の陸上交通

五 道路および道路整備

六 安全設備

七 国道、県道、交通方法変更

八 海上交通

第二節 通信

一 通信(連絡)手段

二 首里王府時代の通信

三 具志川郵便局の移り変わり

四 昭和期の通信と民俗事象

1 死の通知

2 空襲・警戒警報

3 ボンベと通信

第四章 衣食住

第一節 衣

一 具志川における服装

1	夏の衣服	425
2	冬の衣服	425
3	人生儀礼などの衣服	426
	産着／おしめ／葬式／ニービチジン／トゥシビー	425
4	肌着	429
	メーチャー／ハカマ／パンツ／生理用の下着	
5	学校教育のなかで	435
	小学校入学時の服装／通学／移民先からの転校生／制服	
6	衣服管理	440
	たたみ方／衣類の整理と手入れ	
1	織りの原料と染め	441
2	染織	441

4 防災無線

5 死亡広告

糸芭蕉／フィリピンウー／綿／統計資料にみる綿栽培／栽培と収穫／実綿から糸へ／木綿の染料・藍／絹／製糸／真綿の利用

2 型染め

型染めの注文

三 戦中・戦後の衣

1 戦時中

2 戦後

ミシン部の活躍 高江洲の洋裁部／川田の更生部／南風原のミシン部／配給物資や軍服からの仕立て直し／洋裁学校 金武湾洋裁学校／安慶名文化服装学院

第二節 食生活

一 調査地域の概況と食生活の地域性

二 戦前のおもな食材料と食べ方

1 植物性食料

穀類の種類と食形態・米／餅／団子／雑穀／粟／いも類の種類と食形態・芋／芋澱粉／芋粕／山芋／里芋／田芋／キャッサバ（タピオカ）／クズウコン（アロートルト）／野菜の種類と食形態・葉菜類／根菜類／瓜類／山菜・野草・その他／果物／豆類の種類と食形態・大豆／小豆・ささげ／緑豆／そら豆／えんどう豆／海藻類／ひじき／昆布／スヌイ（もずく）／アサ（ひとえぐさ）／ヒジ（いばらのり）／ナチョーラ（まくり）

2 動物性食料

獣鳥肉類の種類と食形態／正月用の豚肉の保存と料理／豚脂の製法と活用／豚肉料理／ 豚汁／足ティビチ／血イリチャー／中身の吸い物／マルチャジシ／山羊料理／牛・馬肉 料理／鶏料理／兔料理／鶏卵／牛乳／魚介類の種類と食形態・魚料理／淡水魚の料理 加工・貯蔵食品 甘藷澱粉(シムクジ)／芋粕(シムカシー)／塩辛類／油味噌(アンダンスー) 救荒食料 ソテツ 調味料・香辛料 みそ／塩／砂糖／醤油／酢／合成酢／油脂／香辛料 食生活の変遷 食制―日常の食生活 戦前の食生活―大正から昭和初期―農家の献立 朝食／昼食／夕食／間食／兼業農家 朝食／昼食／間食／夕食／牛バクヨー(博労)とムイスー／食事の場所／戦時中の食生 活・臨戦態勢下の食料事情／食糧の供出／戦時避難中の食生活／村内での避難生活／山 原への疎開・避難生活／米軍の保護・収容所生活・収容所の生活／北部の収容所／配給 食料の利用と食べ方／戦後の食生活・帰村後のくらし／労務カンパンとQM天願(百軒部 落)の食生活／清浄野菜の栽培と普及／朝鮮出荷野菜とその食べ方／残飯利用の養豚の始 まり／米軍人家庭の食生活体験／米軍メスホールでの食体験／戦後の食生活の変容 年中行事の食 戦前の行事食 一月一日 正月(チータチベー)／一月三日(ハチウクシー・三日祝(ミッカヌシュークー))	511 510
三 食生活の変遷 食制―日常の食生活 戦前の食生活―大正から昭和初期―農家の献立 朝食／昼食／夕食／間食／兼業農家 朝食／昼食／間食／夕食／牛バクヨー(博労)とムイスー／食事の場所／戦時中の食生 活・臨戦態勢下の食料事情／食糧の供出／戦時避難中の食生活／村内での避難生活／山 原への疎開・避難生活／米軍の保護・収容所生活・収容所の生活／北部の収容所／配給 食料の利用と食べ方／戦後の食生活・帰村後のくらし／労務カンパンとQM天願(百軒部 落)の食生活／清浄野菜の栽培と普及／朝鮮出荷野菜とその食べ方／残飯利用の養豚の始 まり／米軍人家庭の食生活体験／米軍メスホールでの食体験／戦後の食生活の変容 年中行事の食 戦前の行事食 一月一日 正月(チータチベー)／一月三日(ハチウクシー・三日祝(ミッカヌシュークー))	488 488 485 484
四 食生活の変遷 食制―日常の食生活 戦前の食生活―大正から昭和初期―農家の献立 朝食／昼食／夕食／間食／兼業農家 朝食／昼食／間食／夕食／牛バクヨー(博労)とムイスー／食事の場所／戦時中の食生 活・臨戦態勢下の食料事情／食糧の供出／戦時避難中の食生活／村内での避難生活／山 原への疎開・避難生活／米軍の保護・収容所生活・収容所の生活／北部の収容所／配給 食料の利用と食べ方／戦後の食生活・帰村後のくらし／労務カンパンとQM天願(百軒部 落)の食生活／清浄野菜の栽培と普及／朝鮮出荷野菜とその食べ方／残飯利用の養豚の始 まり／米軍人家庭の食生活体験／米軍メスホールでの食体験／戦後の食生活の変容 年中行事の食 戦前の行事食 一月一日 正月(チータチベー)／一月三日(ハチウクシー・三日祝(ミッカヌシュークー))	484

／一月七日(七日の祝(七日のシュークー、ナンカヌスークー)／一月十四日(トゥカユッカー、ウワーヌヒサユッカー)／一月十六日(ミージュールクニチ)／二十日正月(ハチカシヨーグワチ)／彼岸(彼岸祭、彼岸カビアンジー)／二月十二日(腰憩い)／二月十五日(ニングワチウマチー)／三月三日(サンガチャー・サングワチサンニチ)／清明祭(シーミー)／畔払い(アブシバレー)／五月五日(グングワチャー・グングワチ)／五月十五日(グングワチウマチー)／六月二十五日または二十四日(六月カシチー)／盆 七月十三日(ウンケー)／七月十四日(ナカヒ)／七月十五日(ウークイ)／八月十日または十一日(柴差)／十五夜／種取り(タントウイ・タントウイベー・タントウイユミ)／冬至(トゥンジー)／ムーチー(鬼餅・本字は十二月七日、屋取は八日に行っている)／十二月二十四日(御願解除・ウガンブトゥチ)／豚屠畜(ウワークルシー・十二月の中旬から下旬にかけて行われた)／十二月三十日(トウシヌールー)

戦後の行事食 ―食材および料理は変容したか―

一月一日 正月／一月二日・一月三日(ハチウクシー・三日祝(三日のシュークー)・サンガチャウイミ)／一月七日(七日の祝(七日のシュークー、ナンカヌスークー)／一月十六日／二十日正月／彼岸(彼岸祭、彼岸カビアンジー)／三月三日(サンガチャー・サングワチサンニチ)／清明祭(シーミー)／畔払い(アブシバレー)／五月五日(グングワチャー・グングワチ)／五月十五日(グングワチウマチー)／六月二十五日または二十四日(六月カシチー)／盆 七月十三日(ウンケー)／七月十四日(ナカヒ)／七月十五日(ウークイ)／八月十日または十一日(柴差)／十五夜／冬至(トゥンジー)／ムーチー(鬼餅)／十二月

五 通過儀礼の行事食
二十四日(御願解除・ウガンブトゥチ)／十二月三十日(トウシヌユール)

祝い食

出産祝い／満産祝い(誕生後六日または七日)／タンカー(満誕生日)／十三祝い／十五歳祝い(カタカシラの祝、十五歳になった男子の成人祝)／トウシビー(六十一「還暦」、七十三「古希」、八十五歳祝い)／トウカチ(八十八歳祝い)／カジマヤー(九十七歳祝い)／結納／結婚式

葬送・法事

枕飯と盛り飯／初七日(ハチナンカ・一周忌)から四十九日(ナナンカ・七周忌)／三十三
年忌

六 薬食同源の食と思想(病人食・養生食・妊産婦食)

病人食・滋養強壯の薬膳料理

豚背肉と肝臓の煎汁／ターイユシンジ(鮎の煎じ汁)／クーイユ(鯉)と薬草の煎じ薬／ク
ーイユシンジ(鯉の煎じ汁)／ターウナジヌシンジ(田うなぎの煎じ汁)／ウッチン(鬱金
うこん)／ハンダマ(すいぜんじな・はるたま)／ヒルジジキ(にんにくの地漬)／ヒルザキ
(蒜酒)／ナチョーラシンジ(まくり 海人草の煎じ薬)／イーチョーバーヌサキ(茴香酒・
ういきょう入り薬酒)

妊産婦の食

七 食思想の変化と食の外部的

食に対する意識の変化／食の外部化

八 まとめ

第三節 住まい

はじめに

一 集落形成の背景

1 地理的条件

2 戦前における歴史的・社会的背景

農業生産（産業）／交通／移民

3 戦後混乱期の状況

二 調査の概要

三 屋敷の特徴

1 屋敷配置とくらし

2 屋敷内の施設

屋敷囲い、ヒンブン／アサギ／高倉／稲マジン（イナマジン）／倉庫、収納施設／家畜小屋（平屋、二階建て）／ウワーフル（豚便所）／井戸（カー）／サーターヤー関連施設／屋

敷内の植栽

3 母屋の平面、形態

四 建築技術、材料など

1 建築技術

第五章 人生儀礼

第一節 妊娠／出産／育児

一 妊娠

妊娠／妊娠祈願／つわり／流産／腹帯／妊娠とタブー

二 出産

出産／出産の場所／カッティ・産婆／ヘソの緒／イヤヤー／カーウリー（川下り）／命名／ジール／満産／ハチアッチー

三 育児

出生届け／母乳・おむつ・産着／ヤシネーウヤ／こどもの魔除け／タンカースージ／子

2 建築材料

木材／石材／竹、茅、藁など／ビーグ／赤瓦、セメント瓦、ブロック／トタン／漆喰（ムチ）

3 建築儀礼

※ 調査票

座間味宅／座間味宅／与古田宅／横田宅／金城宅／国場宅／島袋宅／神田宅／又吉宅／徳吉宅／天願宅／比嘉（田場）宅／仲本宅／仲求宅／高安宅／高安宅／赤嶺宅／安村宅／當銘宅／福地宅／神村宅／大城宅／新垣宅／宮里宅／大工廻宅／上運天宅／金城宅／名護宅／佐久川宅／仲本宅／山田宅／山田宅

守／子守歌／こどものあそび／保育園／幼稚園／一人前

第二節 婚姻

はじめに

資料にみる具志川の戦前の婚姻

一 出会い

1 昭和初期 モーアシビー／親決め婚／結婚の打診／ウマデイマ(馬手間)

2 戦時期 モーアシビー／親決め婚／結婚の打診／ウマデイマ(馬手間)

3 戦後直後 モーアシビー／親決め婚／結婚の打診／ウマデイマ(馬手間)

二 結納

1 昭和初期

結納に行く人／結納に持って行くもの(ごちそう)／結納の儀式／結納金について／結納

後から結婚式までの間／日選び

2 戦時期

結納に行く人／結納に持って行くもの(ごちそう)／結納の儀式／結納金について／結納

後から結婚式までの間／日選び

3 戦後直後

結納に行く人／結納に持って行くもの(ごちそう)／結納の儀式／結納金について／結納

後から結婚式までの間／日選び

4 まとめ

三	結婚	650
1	昭和初期	650
	ムクイリ／ミームークいじめ／ナコウド、ナカンチュ、媒酌人／ユミゾーイ(花婿の家に着くまで)／嫁入り道具／ニービチの儀礼／ニービチザー／初夜について／ハーラトウイ／ご祝儀	
2	戦時期	653
	ムクイリ／ミームークいじめ／ナコウド、ナカンチュ、媒酌人／ユミゾーイ／嫁入り道具／ニービチの儀礼／ニービチザー／初夜について／ご祝儀	
3	戦後直後	655
	ニービチの準備／ムクイリ／ミームークいじめ／ナコウド、ナカンチュ、媒酌人／ユミゾーイ／嫁入り道具／ニービチの儀礼／ニービチザー／初夜について／ハーラトウイ／ご祝儀	
4	まとめ	658
四	その他	659
1	呼び寄せニービチ(移民)	659
2	離婚、再婚	660
五	戦後の婚姻習俗の変化	661
1	モノがない時代	661
2	公民館結婚式の時代	662

3 総合結婚式場の登場

おわりに

第三節 厄年・生年祝

一 厄年

二 二十三祝い

三 トーカチ

四 カジマヤー

第四節 具志川市の葬制

一 死の予兆

動物によるムヌシラシ／夢によるムヌシラシ／現象によるムヌシラシ

二 臨終

死の呼称／死の確認／臨終に立ち会う人々／魂夜ばいの風習

三 死の通知

四 湯灌

五 死装束

六 死者の位置と供物

七 副葬品

八 通夜

九 喪家に対する援助

683 682 681 679 678 677 677

675

672 672 667 665 664 664 664 663 662

十	葬具	683
	クワンチエーバク(棺箱)／ガン(龕)／ティンゲー(天蓋)／シルハタ(白旗)／チカバク／シルイヘー(白位牌)／ハナ(花)／ボーミチャー／ニンプチガニ(念仏鉦)／カチャ(蚊帳)／チヨサージ(經手巾)	
十一	焼香	687
十二	野辺送り	689
	シマミシー(島見せ)の儀式	
十三	穢れ祓い	693
十四	忌服について	696
十五	念仏者と僧侶	696
十六	ナーチャミー	697
十七	飯屋と墓番	697
十八	別れ遊び	698
十九	死者の口寄せ	698
二十	ナンカ焼香	699
二十一	マブイワカシ(魂分かし)	700
二十二	ニザシチュリー	700
二十三	トゥドウミウゲワン	701
二十四	ニンチスーコー(年忌焼香)	701

二十五 洗骨 703

二十六 特殊葬法 704

幼児葬法／ヤナジニ(悪死)した者の葬法

第五節 具志川市の墓制 705

一 墓地の概観 705

二 墓の呼称と種類 706

三 墓の建築儀礼 709

四 墓の構造 713

五 墓堂内の厨子甕 715

赤道・大門森の銘苅門中神墓／兼箇段・根神門中神墓ーミーバカ(新墓)とジョーミーチ

ヤー墓／字天願・安慶名門中墓

第六章 年中行事

第一節 沖縄県の年中行事(概略) 727

春の行事(旧暦一月～三月)／夏の行事(旧暦四月～六月)／秋の行事(旧暦七月～九月)／冬

の行事(旧暦十月～十二月)

第二節 具志川間切の文献に見る年中行事 736

グスク嶽之殿(字具志川)／根トクノ殿(字田場)／クバウ嶽ノ殿(字宇堅)／コシモリ嶽ノ

第三節

旧具志川市の年中行事

一 春の行事

殿(字天願)／グスク嶽の殿(字安慶名)／タカミ嶽ノ殿(字川崎)／栄野比の殿(里主所火の神)
 (字栄野比)／兼箇段の殿(里主所)(字兼箇段)／グスク嶽ノ殿(字江洲)／江洲ノ口火の神(字
 江洲)／宮里の殿(村の上の松の下にある)(字宮里)／ヨナ川ノ殿(村の上の方にある)(字
 高江洲)／マフノ嶽ノ殿(字仲嶺)／タケナフ嶽ノ殿(字喜屋武)／オヤパンタノ殿(村の前
 の方にある)(字上江洲)／大田の殿(里主所)(字大田)

742 741

二 夏の行事

一月の行事・正月／門松・しめ縄／若水／年賀状／ハチジュリー／チイタチ・ジューグ
 ニチ(朔望)／ハチウクシー／カーウガミ／ハチウグワン／ミツチャヌスク／ナンカヌシ
 ユク／トウシビー／トカユツカー／十五日正月／十六日／十八夜／二十日正月／二月の
 行事・シマクー／土帝君／二月彼岸／クシユツキー／二月ウマチー／ヤシチヌウグワン
 ／三月の行事・清明祭(シーミー)／三月三日／三月ウマチー／虫アシビ

757

三 秋の行事

四月の行事・アブシバレー／五月の行事・ユツカヌヒー／五月五日・グングワチャー／
 五月ウマチー／原山勝負／六月の行事・六月ウマチー／六月カシチー／チナヒチ(綱引き)
 七月の行事・七夕／旧盆／豊和風まつり／八月の行事・八月カシチー／ヨーカビー／ヤ
 シチヌウガン／八月彼岸／シバサシ／十五夜／アガリウマーイ／今帰仁ウマーイ／九月
 の行事・九月九日／九月ムヌメー／タントウイ(種子取)

762

四 冬の行事

十月の行事・アチハティ十月／ヒーヌウガン／カママリー／十一月の行事・冬至(トウン
ジージューシー)／十二月の行事・ムーチー／ウワークルシー／ウグワンプトウチ／トウ
シヌユルー

772

第七章 具志川の民具

第一節 序論「旧具志川の生業と暮らし」

赤道の「ウフヤー奥間家」

写真を読む

時代／ウフヤー(母屋)とシム(台所)／ナカヌヤー／タムンヤー／ンニマジン(稲積み)／
砂糖車／砂糖小屋／馬車／搾り殻／服装

789 788 788

第二節 衣食住

一 衣

裁縫箱／アイロン／火熨斗／ハンジリ／洗濯板／ウーパーラー／ニービチ道具／ニービ
チ用ドレス／下駄／雨具

791 791

二 食

1 調理用具

鍋類／ヤカン／カマンタ／ソーキ／まな板／カッタービジャー

794 794

2	飲食用具	796
3	お椀／ナビゲ／イーゼー／コップ／盆／膳／弁当箱 加工用具	798
4	碾臼／アジマー／トーフウーキ／トーフ袋／豆腐箱／ムチンブサー／ンムクジシリー／ ダシゲワーチチャーウーシ／アジン／シリバチ／クワーシバク／チガヌジ 保存・貯蔵	803
三 住	サギジョーキー／金網サギジョーキー／アンダガミ／味噌壺／カーミの蓋／德利／ハ ンジリ	805
第三節 生業	敷物／照明／ヤーボーチ／クバオージ／ちゃぶ台／クルマ／ハンドウー／イシドーニー ／マッタカサー／火縄／洗面器／漆喰臼	809
一 農業	鋤／犁／田植え梓／苗代コテ／除草機／ティビク／ヒーラ／スコップ／ミマタースコッ プ／フォーク／イラナ（鎌）／キビ刈り鎌／キビ伐りオノ／トウシ（砥石）／脱穀・調整具 ／ミーズーキー／ユイ／製糖用具／砂糖屋組／タルガー（砂糖樽）	809
二 漁業	海デイル／タマカガン	817
三 畜産		818

ムゲー／チミ(蹄鉄)／牛の手綱／ンムガーチチャーウーシ／トーニ	
商業	819

枘／竿秤(ハカイ)／徳村商店(塩屋)	
諸職	822

博労／芋くずソーミンづくり／豆腐づくり／イグサ(蘭草)栽培とムシロ織り／蘭草栽培	
／織り(地機・高機)／選別機／フドウチ／ジュラルミン鋳物製造／ジュラルミン製品／	
飾り盆	

六 大工道具	836
--------	-----

ヒチ／ボービチ／タムンワヤー／ジュージマター／大工道具へかな・サクリ類／墨壺類／のみ類／のこ類／ハンマー類／やすり類／はつり具関係道具／おの類／石工道具／錐類／セメント鋺／その他工具

第四節 運搬	841
--------	-----

馬車鞍／メークンジャー／馬の鞍／牛鞍／パーキ／ガンシナー／ターグ／チンチョー／クエーウーキ／棒／オーラー(もっこ)

第五節 団体生活	843
----------	-----

チチガニ(ボンベ鐘)／ホラ貝／原札

第六節 娯楽	844
--------	-----

闘牛／綱引き

第七節 医療	845
--------	-----

第八節 信仰・行事

ムーチーの十字／カビウチ／サイ

845

第八章 信仰と祭祀

第一節 聖地

はじめに

『琉球国由来記』に記されている場所／村立てと関わりと考えられる場所／生活と関わる

849 849

場所

各字の拝所

字具志川

850 850

ナームイ／グスク嶽／グスク嶽の殿／ウガミ／東御嶽拝所／具志川ヌン殿内・ノロ火の

神／間切番所の火の神／根屋／字具志川のカー・ウフガー／ナカヌカー／ウスクガー／

ミートウガー／ダキヒチヌカー／マーカー／シチナハヌカー

天願

コシ森／コシモリ嶽の殿／天願ヌン殿内跡・ノロ火の神／霊化森のビジュール／ユンタン

853

ザ屋敷跡地／天願のカー・泉川泉(イズンザーイズン)／東泉(アガリガー)

栄野比

ニーヌファ御嶽／栄野比村火の神／イーヌヤー(上の屋・神屋・根屋)／栄野比ヌン殿内・

855

ノロ火の神／ウマヌファ御嶽／トゥヌモ／テーギシ／シシクエー松／カンカーモ／
 ジャンジャンガマ／栄野比のカー 本字のカー・イーヌカー／シチャヌカー／ティーギ
 シシチャヌカー／西原のカー・イシビラのカー①／イシビラのカー②／元島のカー①・
 元島のカー②／メーヌカー／大荒地のカー・大荒地のカー①／荒地のカー②

田場

ウフウタキ／イーヌ御嶽／田場ヌン殿内・村のヒヌカン／コシイシ／ウフグリームン（ウ
 フゴーレー）田場のカー・ヌールガー／シードーガー／田場ガー（タバヌカー）／ムトゥガ
 ー／クーガー小（イナグガー）／ナクガー

宇堅

クバウ御嶽・クバウ嶽ノ嶽／アラフチビジュール／サンガチャーモ／宇堅のカー・宇堅
 ガー（大）（小）／シリガー

安慶名

グスク御嶽／メーヌウタキ／トゥヌモ／グシクヒヌカン（ヒヌカンヤー）／安慶名ヌン
 殿内・ノロ火の神／シリ／ウンナクブ／安慶名ノロが拝んでいた拝所／地頭火の神／
 安慶名神社／安慶名のカー・安慶名ガー（マーガー）／ヌールガー／チンガーモ（大川按
 司のカー）

川崎

タカミ嶽／タカミ嶽の殿／金城門中の神屋／楚南門中の神屋／川崎のカー・イッスワク
 （二升湧）／川崎ウブガー／川崎イジュン（ナガモ／ガー）

江洲

江洲グスク／殿／江洲ヌン殿内・ノロ火の神／火の神／大屋殿内／七神／合同清明祭↓
 按司墓・ノロ墓／知花墓所／江洲王の墓（江洲世の主の墓）／シリータ／赤道団地近くの
 古墓／ウフジョー森古墓群／チカザンモーにある墓／江洲のカー・津嘉山ガー／ヤマト
 ウガー／ヌールガー／ヌルジガー／ウンチョビガー

宮里

火の神／宮里城原の墓／ウフ殿内（大殿内）／ティランナー／宮里のカー・シリンカーガ
 ー（ウブガー）／マーカー（真井）／下原のカー①／下原のカー②

高江洲

クバヌカタウガン／殿／地頭火の神／根神（根屋）／シーサーヤーのモー／ガジュマル木
 （シマカンカーの祈願）／ヒラシモー／高江洲のカー・古島のカー（志林川のカー）／大川
 原のカー／カナグシクヌカー／ナカミチヌカー／殿の敷地内にあるカー

上江洲

上江洲の拝所／殿／ヌンドウンチ神屋／根屋／根屋跡／お宮／ノロ墓／按司墓／上江洲
 のカー・ナカンガー／ウフガー／ヌーリガー（ヌールガー）／メーヒンガー／クシヒンガ
 ー／デークガー／アガリガー／カミヤマガー（神山ガー）／殿の古井戸

大田

大田親殿内（エードウンチ）／根屋／大田のカー・ウブガー（大田産井泉）／大田ガー（ウブ
 タガー）

喜仲

マープ御嶽〈仲嶺〉／殿〈喜屋武〉／殿〈仲嶺〉／火ヌ神〈仲嶺〉／喜屋武按司の墓・長男〈喜屋武・仲嶺〉／喜屋武按司の墓・次男、三男〈仲嶺〉／古墓群〈喜屋武・仲嶺〉／喜屋武の根屋／仲嶺の根屋／喜屋武の神屋／仲嶺村神／喜屋武按司門中神屋／土帝君〈喜屋武・仲嶺〉／喜屋武のブーマー神／仲嶺のブーマー神／喜仲のカー・喜屋武のウブガー・ウフガー／喜屋武・仲嶺／御神カー〈喜屋武・仲嶺〉／喜屋武の村ガー〈喜屋武〉／ウブガー〈クラハガー〉〈仲嶺〉／根人ヌカー〈根人ガー〉〈仲嶺〉／シードゥーガー〈仲嶺〉／元島のウブガー〈喜屋武・仲嶺〉／志神カー〈仲嶺〉

兼箇段

兼箇段グスク／タキ／兼箇段グスクにある墓／ガマ／リュウグウ／カンサギ／殿／村の神屋／ニガミ門中の神屋／ビジュール／ジョーミーチャー墓／ミーバカグーフ／兼箇段のカー・ウブガー／カミガー／メーヌカー／トゥンヌメーヌカー

屋取集落

第二節

祭祀組織

一 具志川村(市)のカミンチュ(神人)

ノロとノロ殿内・ノロ制度について／ノロは独身だったのか？／辞令書発給の制限と装身具／ノロの役地Ⅱノロクモイ地／具志川村(市)のノロ 具志川ノロ／田場ノロ／天願ノロ／安慶名ノロ／栄野比ノロ／江洲ノロ／上江洲ノロ／根神・クデイ・その他の神人・根神／クデイ／掟あむ・掟神／居神／夫廻神・ウメーキ

二 ユタ・三世相―民間信仰の職能者	965
はじめに	965
1 M・Sさんの事例	966
職能ハンジ・祈願／専門領域／祭具・祭壇／成巫過程／就任儀礼／祈願／仲間	
2 T・Tさんの事例	968
職能／専門領域／祭具／成巫過程／就任儀礼／祭壇／祈願	
3 K・Tさんの事例	970
職能／成巫過程／祭具・祭壇	
おわりに	971
第三節 その他の信仰	972
一 仏教	973
沖繩仏教の概要／ニンブチャー(念仏者)／具志川のニンブチャー・字具志川・赤野・川崎・栄野比・昆布・大田・米原・宮里・豊原／戦後の葬式	
二 神道	978
神道とは／沖繩の神道の流れ／具志川と神道 上江洲のお宮・安慶名神社	
三 キリスト教	981
キリスト教の伝来／具志川の教会 前原バプテスト教会・安慶名バプテスト教会・具志川福音自由教会(具志川聖書教会)・サレム宮里教会(宮里隣人キリスト教会)	
四 ビジュール信仰	986

田場のビンジン／天願のビジュール／宇堅のビジュール／兼箇段のビジュール／前原のウフワ
タビジュール／前原のトゥールガマ

五 土帝君

宮里の土帝君／喜仲の土帝君／平良川の土帝君

第九章 民俗知識

第一節 民間医療

アmeerバー赤痢(シブイワター)／アシブ(あせも)／胃の病氣／胃腸カタル／痛み／胃腸が
弱いとき／胃けいれん(カミラリヤー)／イボ(クチュビ)／打ち身／ウービダン／風邪(ハ
ナシチ)／カジョーラー(和名不詳)／脚氣／肩こり／切り傷・止血／眼病(ミーハギ・ミ
ーハガー)／グチャファ(和名、たむし?)／クビーダン／靴擦れ／結核(ハイビョウ)／下
痢／骨折／座骨神経痛／神経衰弱／頭痛(チブルヤミー)／喘息(ヒミチ)／胎毒／だるさ
／タンガサ(帯状疱疹)／チンマヤー(和名不詳)／ Deng 熱／吐血／トヌギダン(和名不
詳)／鳥目(ユール、ユールミー)／夏やせ／ニープター(腫れ物の一種)／熱冷まし／
寝小便(ユーシーバイ)／歯痛(ハーヤミー)／歯の再生儀礼／梅毒(ナーバ)／腫れ物／ハ
サグ(和名不詳)／ハジマキ(漆かぶれ)／ハンセン病(ライ病)／ヒークエーガサ(和名不詳)
／皮膚病／ヒーダン(和名不詳)／腹痛(ワタヤミー)／不眠症／フィラリア(ウフビサー・
クサフリヤー)／便秘／ヘーガサ(和名不詳・頭部湿疹?)／マラリア／耳垂れ(ミンザイ)

第二節

一 占い

／水虫／虫下し・寄生虫・回虫／ムチチリタン(和名不詳)／虫刺され／ヤケド／夜泣き
 ／淋病(シーバイヤンリ)／リンパ腺炎(グリー・グリグリー)

占い・まじない・風水

九星術・姓名判断など／米占い

二 まじない

年中行事とまじない・シマク／柴差／屋敷御願／人の一生におけるまじない・人の誕生・子育てとまじない／妊娠中のまじない／赤子・乳幼児の時のまじない／「マブヤーグミ」／人の死とまじない・葬式の日まじない／「トゥカミ」／「三人目の葬儀」／暮らしの中のまじない・雨乞／ハマウリ(浜下り)／魔除け・シャコガイ／石敢當／シーシ(獅子)／フーフダ

三 風水

墓地風水と「墓中符」／村落の移動と風水

第三節

天文・数理

一 天文

暦／時計／四季／月と二十四節／二十四節気の方言と氣候(旧暦)／十干十二支／年穴(誕生干支の年は凶)性格・厄年・庚の日・友引／方位と吉凶／一日の推移／天気の予兆／星の方言と伝承

二 数と数詞

忌数と吉数／数の方言（宇堅）／お金の数詞／各種の数詞

第四節 度量衡

一 度・長さ

一里塚／原石（ハルイシ）／手足と指・身長／目測／計算道具

二 度・面積

土地面積／畳／測量機器

三 量・容量

京枴／定量容器／砂糖樽／バーキバカイ／目測／その他計量

四 衡・重さ

竿バカリ／カンカン／台バカリ／体重計／重量容器／目測

具志川市史 第八卷 民俗編 上

平成二十三年三月十五日 印刷

平成二十三年三月三十一日 発刊

編集 うるま市

具志川市史編さん委員会

発行 うるま市教育委員会

沖縄県うるま市勝連平安名三〇三二

電話（〇九八）九七四―三二一（代）

印刷 株式会社 近代美術

沖縄県島尻郡南風原町字兼城二〇六

電話（〇九八）八八九―四一―三三（代）

具志川市史

第八卷

民俗編

下

目次

口絵
凡例
目次

第十章 変容する民俗

第一節 民俗変容の諸相

1 年中行事の衰退 3

2 民俗芸能のイベント化 7

3 民俗宗教・葬送儀礼の変容 11

4 消えゆく民具 15

第二節 民俗の変容Ⅰ —様式・形態・態様—

地域社会の変動と核家族化 17

1 社会的なインパクトと家族の変容 17

2 「戦後復興期」における家族の態様 18

3 「社会教育拡充期」における家族の態様 20

4	「都市化変動期」の核家族化と家族規範の変容	21
第三節 民俗の変容Ⅱ ―人の行動―		
一	都市化と地域住民組織の変容	23
1	多彩な地域性と村落自治の原理	24
2	戦後復興と住民自治の再生・変容	26
3	精神的拠り所としての字事務所の復興	29
4	「都市化変動期」における地域自治組織のあり様	31
二	高齢者の生き方の変容と老人クラブ	33
1	戦前期以前における高齢者の生活と「生き方」の諸相	33
2	「老後」のあり方と老人クラブの誕生	35
3	「都市化変動期」における「老後」の多様化	37
三	女性の生き方の変容と婦人会活動	39
1	戦前・戦中期における「婦人」の役割	39
2	戦後復興と米軍占領下における婦人会の復活	41
3	戦後女性の生活と「生活改善」の諸相	43
四	若年層の生き方と地域における役割の変容	46
1	戦前期にみる地域青年層の役割の原点	46
2	戦時期青年団の官制的な側面	48
3	戦後青年会の変容と男女共同化	49

座談会「民俗変容」

座談会開催の経緯	55
座談会出席者	57
座談会Ⅰ	59
社会生活「各字概況」「屋取集落の沿革」「社会組織」／民俗知識「占い・まじない・風水」「民間医療」「天文・数理」「度量衡」	
座談会Ⅱ	106
生業「農業」「漁業」「諸職」／具志川の民具／生業「商業」／交通・運輸・通信「通信」	
座談会Ⅲ	162
衣食住「食生活」／年中行事／人生儀礼「妊娠・出産・育児」「生年祝いと厄年」	
座談会Ⅳ	218
信仰と祭祀「聖地」「ユタ・三世相等」「その他の信仰」「ノロ殿内／根神／クデイ」	
座談会Ⅴ	254
人生儀礼「婚姻」「葬制」「墓制」	
座談会Ⅵ	296
衣食住「住まい」／生業「畜産業」「製塩」	
座談会Ⅶ	341

座談会「民俗変容」補足説明

調査協力者一覧

索引

執筆者一覧

編集後記

編集委員、小委員会、事務局

具志川市史 第八卷 民俗編 下

平成二十三年三月十五日 印刷

平成二十三年三月三十一日 発刊

編集 うるま市

具志川市史編さん委員会

発行 うるま市教育委員会

沖縄県うるま市勝連平安名三〇三二

電話(〇九八)九七四―三二一(代)

印刷 株式会社 近代美術

沖縄県島尻郡南風原町字兼城二〇六

電話(〇九八)八八九―四一―三(代)